

少年法入門(八訂版)



監修 : 裁判所職員総合研修所
定価 : 本体 1,800 円＋税
判型 : A5 判
ページ数 : 140 ページ
ISBN : 978-4-911236-06-2
発行 : 2025 年 6 月

内容

本書は、少年審判の手續に沿って重要なポイントを平易に解説することにより、少年法に関する基本的な知識を付与し、法律上及び実務上の問題点の基礎を把握させることを目的としているものです。令和3年の法改正に伴う改訂が行われ、特定少年に関する章が新設されるなど、少年法に関する格好の入門書となっています。

目次(抄)

序 章 少年法の沿革	第6章 事件の受理	第9章 被害者等に対する配慮
第1 少年裁判所制度の発展	第1 管轄	第1 被害者等による少年審判の傍聴
第2 我が国の少年法	第2 受理の経路	第2 被害者等の申出による意見の聴取
第1章 少年法の概念及び法源	第7章 調査及び審判	第3 被害者等による記録の閲覧及び謄写
第1 少年法の概念	第1 審判条件	第4 被害者等に対する審判の状況の説明
第2 少年法の法源	第2 調査の開始	第5 被害者等に対する審判結果等の通知
第2章 少年法の適用される事件	第3 家庭裁判所調査官による調査	第10章 不服申立て及び家庭裁判所の決定後の措置
第1 少年保護事件及び準少年保護事件	第4 援助、協力依頼	第1 保護処分決定に対する抗告
第2 少年の刑事事件	第5 保護者及び付添人	第2 検察官による抗告受理の申立て
第3章 少年審判の目的ないし機能	第6 呼出し及び同行	第3 家庭裁判所の決定後の措置
第1 司法的機能	第7 観護措置	第4 保護処分の取消し
第2 福祉的機能	第8 審判手続	第11章 少年補償制度
第3 司法的機能と福祉的機能の関係	第9 試験観察	第12章 特定少年の特例
第4章 少年審判の対象	第8章 終局決定	第1 検察官送致
第1 審判に付すべき少年	第1 処遇の決定	第2 保護処分
第2 審判の対象－非行事実と要保護性	第2 審判不開始	第3 少年法の適用に関する特例
第5章 少年審判の基本原理	第3 不処分	第4 審理運営及び手続上の留意点
第1 教育主義(保護主義)	第4 知事又は児童相談所長送致	
第2 個別処遇の原理(処遇の個別化)	第5 検察官送致	
第3 職権主義	第6 保護処分	
	第7 保護処分の付随措置	
	第8 決定の執行	
	第9 保護処分決定の効力	